

情報公開文書

研究課題名	症候性頭蓋内動脈狭窄症に対し、経皮的血管形成術を実施された例の特徴
所属（診療科等）	国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経内科
研究責任者	上田 凌大
研究機関	この研究は国立病院機構舞鶴医療センター脳神経内科で実施します。
研究期間	2015年3月1日～2024年3月31日
研究目的と意義	脳梗塞は頭の血管が血の塊（血栓）が詰まる（閉塞する）ことによって発症する疾患です。そのなかでも頭蓋内血管が動脈硬化により狭窄をきたすことが原因で発症する脳梗塞をアテローム血栓性脳梗塞と呼びます。アテローム血栓性脳梗塞に対しては内科的治療が推奨されますが、内科的治療に抵抗して脳梗塞を再発することもあります。その際にカテーテルによる血管形成術が有効なこともあります。当院で血管形成術を実施した症例を検討し、よりよい今後の治療につなげます。
研究内容	●対象となる患者さん； 当院で経皮的血管形成術を実施した患者様を対象とします。
	●利用する情報； 患者さんの背景（年齢、性別、基礎疾患など） 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。
	●研究の概要・方法；
問い合わせ先	研究担当者氏名：上田 凌大（医師） 国立病院機構舞鶴医療センター 脳神経内科 住所：京都府舞鶴市字行永 2410 番地 電話：0773（62）2680 FAX 0773（63）5332